

鉄道好き向け障害者GH

アニメ・漫画好き向けと同時オープン

「わおん」「おん」のブランドでペット共生型障害者グループホームの運営を手がけるアニストホールディングス（東京都千代田区）は、関西支店最期の取組のひとつとして、「鉄道好き」「アニメ・漫画好き」を対象にしたグループホームを大阪市内に開設した。「同じ趣味の人たちが集うことで、「コミュニティ」の活性化に繋がる」（白井孝明関西支店長）と期待する。



▶白井孝明（左）と松岡孝典（右）

アニストHD

ホーム1階には「電車でGO！」

今回開設した物件は旧家改修型であるが、館内でペットを飼育しているのは同社のほかの障害者グループホームと同じ。そこに

「フランスアルファ」で特定のターゲットに向けてより強力に魅力を出しているのが大きな特徴だ。

生野区にオープンした鉄道好き向け「なにわ鉄男」は男性専用で定員は5人。アクティビティとして、実際の鉄道に乗りに行ったり、写真撮影に行ったりなどの外出レクリエーションのほか、館内には人気ゲーム機「電車でGO！」が設置される。実際にゲームセンターに置いてある機種と同じものを購入した。

また、日中は鉄道関連の映像を流したり、運転士の方と鉄道関係者の仮装を楽しんだりする予定。一事には、全国の有名駅弁を取り寄せる、などといったことも考えていきます。

さらに、利用者の居室の壁には運動車庫内の中内を撮影した写真を実物大に引き伸ばしたシートを貼っている（写真参照）というこだわり。スタッフも鉄道好きを集めているという。



4 電車内を撮影した「なにわ鉄男」の居室の様子

る日本橋への買い物ツアーなども行う。さらに今後はオリジナルの「前えキャラ」も作成予定だ。

「グッズなどの買い物に行く機会ができれば、そのために頑張って働く」という気持ちになります。利用者の就労支援にもつながるでしょう。

館内には数多くのマシンガンを備えるほか、アニメ作品のDVD鑑賞などをレクリエーションとして実施する。また、アニメ・漫画好き向けの店が数多く集ま

た。ただ、鉄道好きと一口に言っても、乗るのが好きな人、写真撮影が好きで好きな人、車両が好きな人、模型が好きで好きな人など実際のジャンルは細かく分かれている。アニメ・漫画好きも同様で、時代やジャンル

また、現在生野区で女性専用の障害者グループホームの開設計画もあり、こちらも何らかの趣味に特化したものにしていく計画だ。例えば、歴史好き、神楽園好き、アイドル好き、お笑い好きなどを考えているという。